

# 業界2018年の見通し

## 会員企業 景気動向アンケートより

2017年は第3次ブームと呼ばれたAI技術をはじめ、センシング、無線技術など高性能なエッジデバイス開発技術が登場し、様々な分野でIoTの具体例も示された。そうした背景もあり、各企業とも好業績につながったようだ。迎えた2018年、業界はさらなる向上が期待される。そうしたなか、会員各社はどう飛躍に向かおうとするのか。「景気動向アンケート調査」から企業の現状、業界予測を展望する。

事業内容	社
組込みシステム開発・受託	29
組込みソフト開発・受託	40
組込みハード開発・受託	10
汎用系ソフト開発・受託サービス	12
情報サービス	6
Sler	4
OEM(製造)	3
コンサルティング	8
商社	5
ベンダ・メーカー	6
その他	6

表1 回答企業の主たる事業(複数回答)

### Q. 2017年の貴社の業績はいかがでしたか?

「非常によかった」が9%アップで2桁を超え、「よかったです」との合計は過半数に達する51%となった。これは前々回(2016年1月掲載)の52%以来。また「悪かった」「非常に悪かった」が7%となり、前回の15%から半数以下まで減少した。

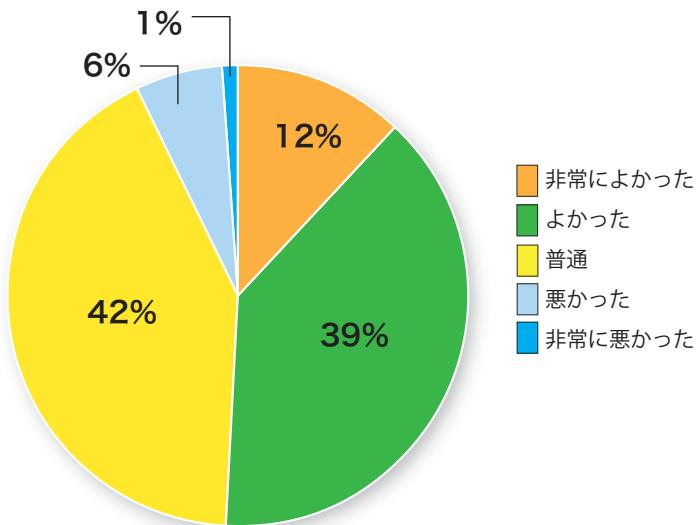


図1 2017年の貴社の業績はいかがでしたか?

### Q. 前年と比較して2017年の業績は?

「よかったです」が38%から53%に伸長、「非常によかった」も2%アップし合計58%にまで増えた。ここも前々回と傾向が被っているが、前回比較も含めた違いは、悪化したという回答が大幅に減少している点。「悪かった」が16%から7%に、5%あった「非常に悪かった」はゼロとなった。

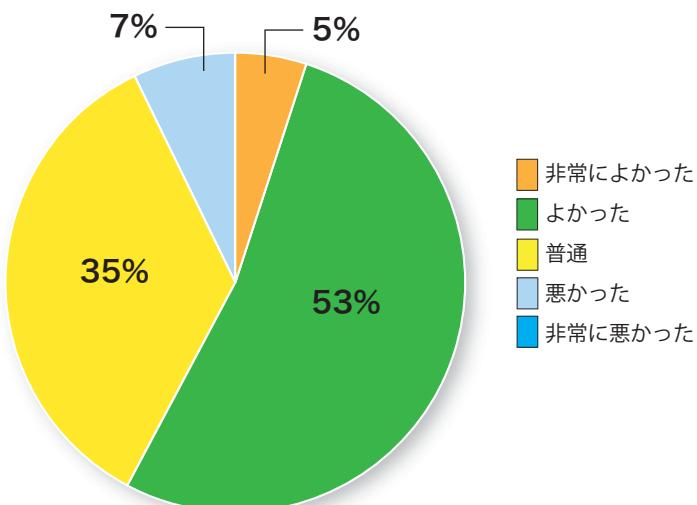


図2 前年と比較して2017年の業績は?

### Q. 2017年業績の伸び率は?

業績が上昇した企業が多いなか、伸び率は「20~10%」が前回の15%から倍増、「30~20%」も5%から7%に増え、「二桁成長」が約4割となった。この状況も前々回に近い。しかしマイナスが4%しかなく前々回の11%、前回の17%から大幅に減少していることから、全体的に底上げ傾向にあると受け取れる。

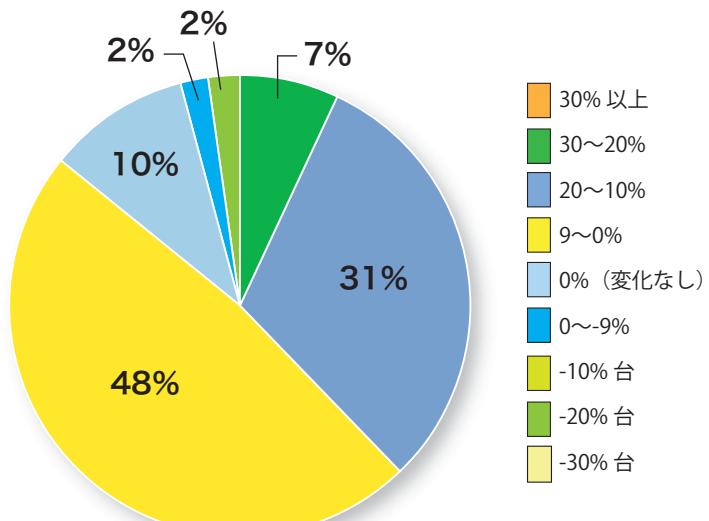


図3 2017年業績の伸び率は?

### Q. 業績に貢献した部門は?

業績に貢献、または補完した部門を問う質問では、「製作・製造」が7%アップし35%となり、前回最上位だった「研究・開発」を上回り再び浮上した。「営業」「サービス」「管理部門」はそれぞれ1~2%微減に。こう見ると、業績上昇には案件の多さがあったことが伺える。また「その他」には「マーケティング」との回答があった。

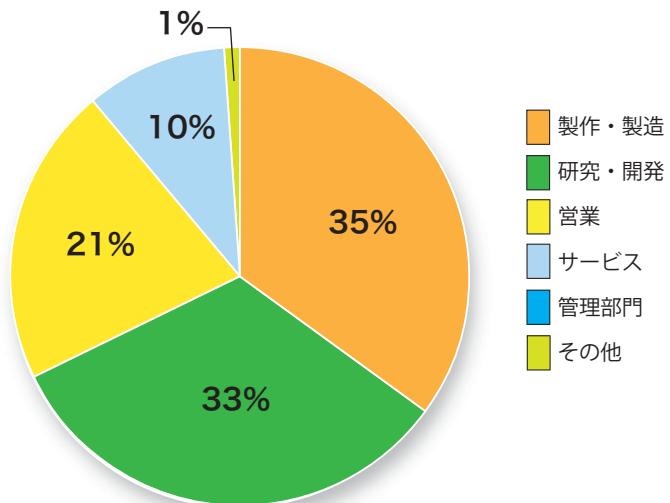


図4 業績に貢献した部門は?

### Q. 今後補強したい部門は?

前回に続き「研究・開発」「営業」の順で、「製作・製造」が5%アップし、2%減少した「サービス」と入れ替わり3番手に再浮上した。「サービス」は減少したとはいえ15%あり、3年前まで一桁だった割合から比べると継続して必要性の高さが伺える。

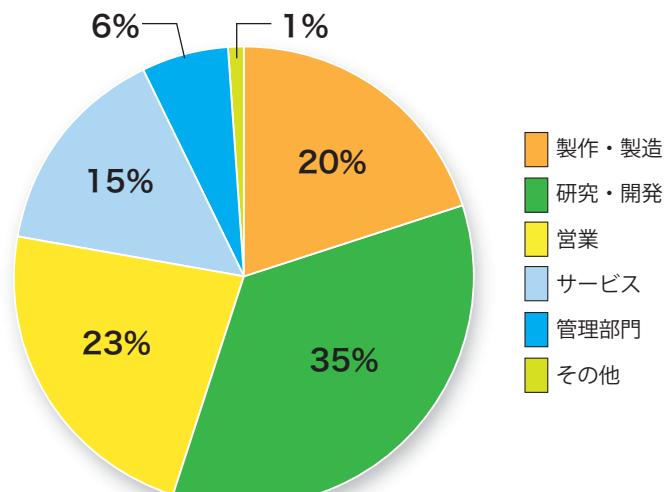


図5 今後補強したい部門は?

**Q. 円安や株価、また国際情勢による影響は?**

影響を受けた企業では、「株価の影響を受けた」が4%から7%に増えたが、「円安」「円高」との回答はそれぞれ減少。特に「円高の影響を受けた」は前回から12%減少した回答数となっている。

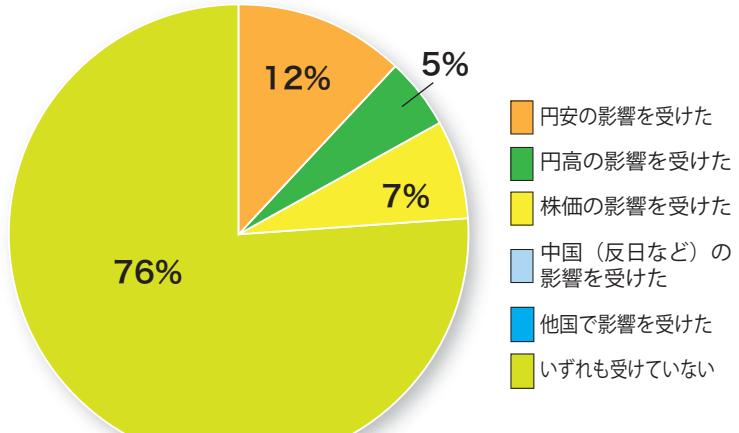


図6 円安や株価、国際情勢による影響を直接受けましたか?

**Q. 技術者の雇用状況は?**

技術者の雇用状況は、実に90%が「不足(積極的に採用していく)」と回答している。前回も70%あったが、さらに20%も増えたことになる。一方で、「適正」が前回の17%からわずか3%まで大幅に減少。技術者採用は、多くの企業で急務の課題となっていると言えよう。

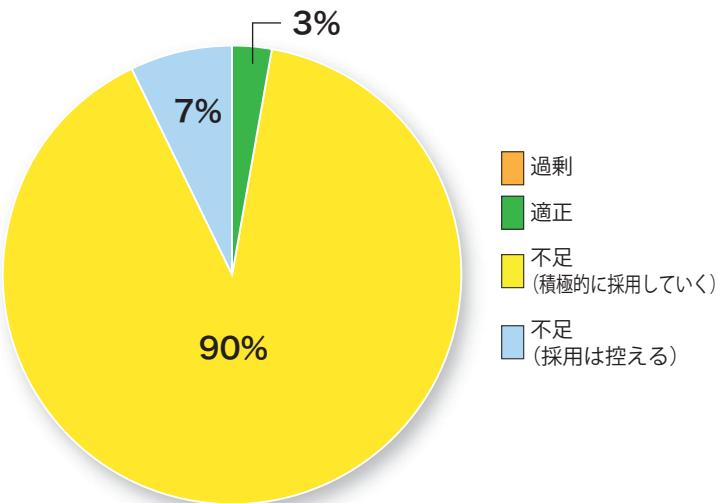


図7 技術者の雇用状況は?

**Q. 2018年組込みシステム関係の景況は?**

「非常によい」が2%から7%に、「よい」が45%から57%に大きく伸長、合計で62%にまで伸びている。その理由には「全体的な景気が良い」「ITトレンドの多くに組込みシステムが関係している」「車載関連が活況」「半導体会社の業績が良い」「受注が増える傾向」「5G、8Kなど東京オリンピックに向けた需要に期待」などが挙がった。

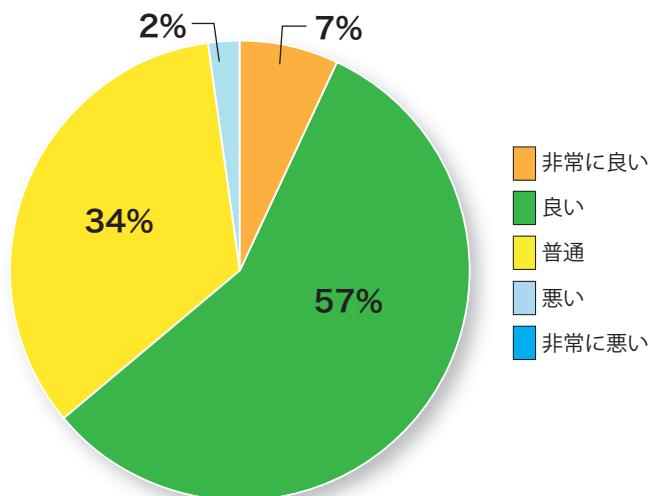


図8 2018年組込みシステム関係の景況は?

### Q. 2018年の貴社の業績は?

自社の業績では「悪い」「非常に悪い」との回答はゼロ。ここでも「非常によい」「よい」の合計で60%に迫る回答があり、少なくとも2017年の上向き傾向が維持できると見る。その分、技術者不足の解消がポイントとなりそうだ。

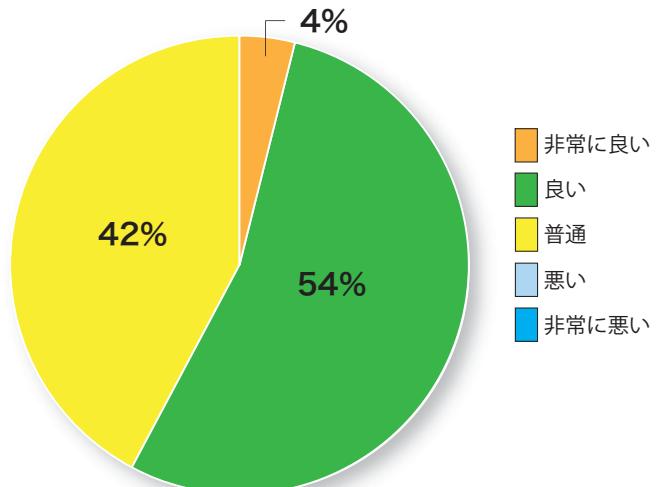


図9 2018年の貴社の業績は?

### Q. 貴社が成長を期待する分野は?

前回より回答が増えた分野は「家電・ホームエレクトロニクス」「モバイル、ウエアラブル」「環境、エコ」「工作機械、FA」「精密機械、電子機器」となった。また「その他」には「防災、安全機器」「車載器関連」「AI、IoT」などが挙がった。

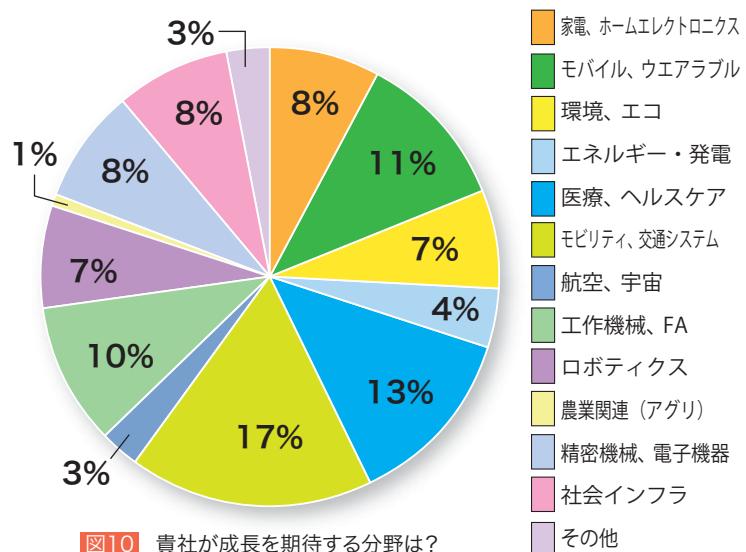


図10 貴社が成長を期待する分野は?

### Q. 2018年貴社にとってのキーワードは?

多くの企業が成長を期待する年になりそうだが、自社にとってのキーワードは何か。キーテクノロジーや応用分野関連、自社の環境や意識改善関連に分けて取り上げてみたい。

- キーテクノロジー、応用分野
  - 製造IoT
  - IoT
  - AI
  - セーフティ&セキュリティ
  - デジタルトランスフォーメーション
  - RPA
  - メカトロニクス
  - 5G、8K
  - ボイスアシステント
  - モビリティ(ADAS)
  - GNSS
  - クラウド
  - ヘルスケア
  - 物流ロボット
- 自社の環境改善・意識改善
  - 人材、人財育成
  - 生産効率向上
  - 新規事業構築
  - 製品販売
  - 顧客開拓、事業開拓
  - リノベーション
  - サービス事業への新規参入
  - 販路拡大
  - 技術者の拡充
  - 自社提案・開発の促進
  - 独自技術
  - 共創エンジニアリング
  - 意識改革と自己研鑽